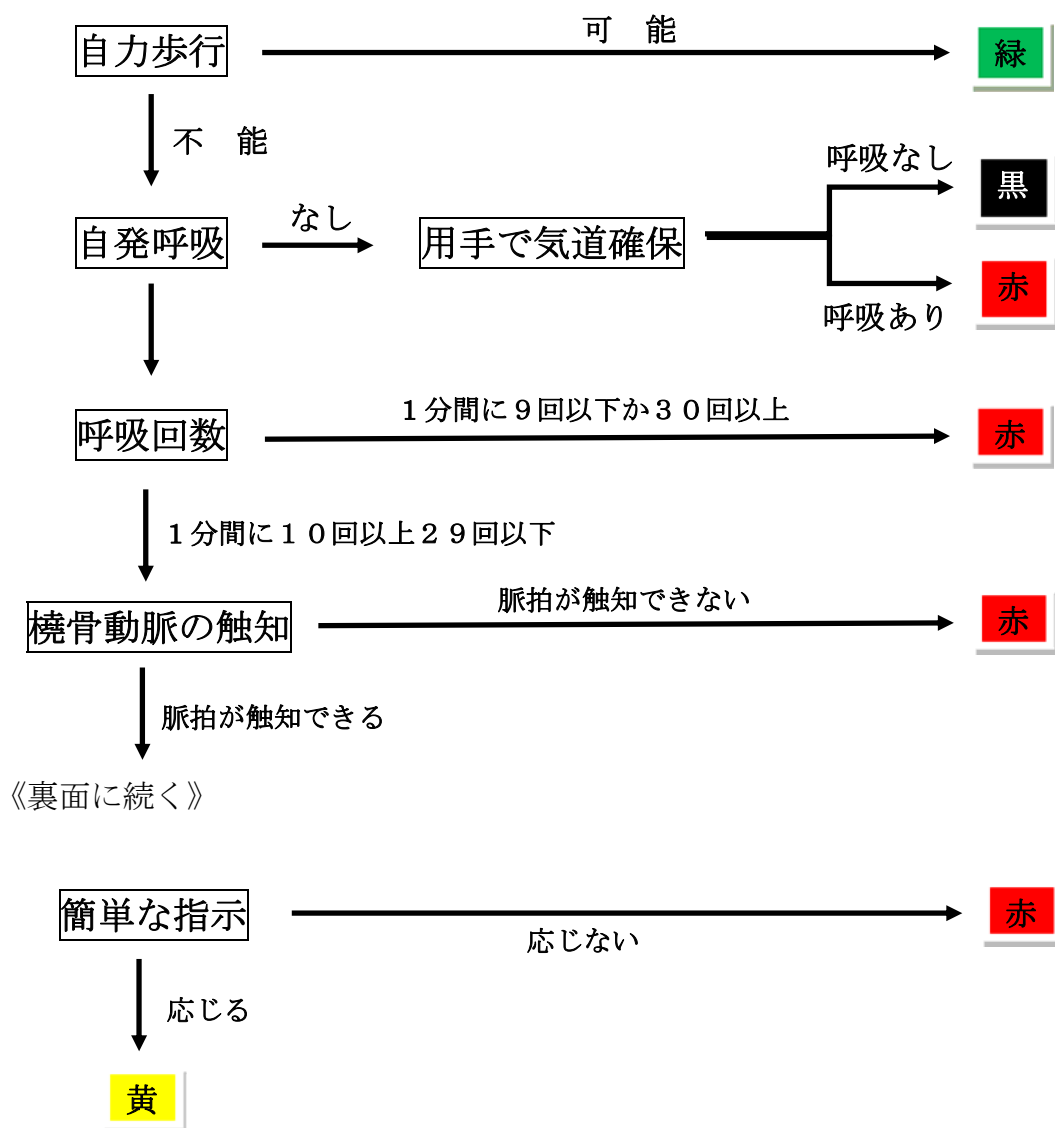


- 赤：緊急に救命処置を必要とする
- 黄：緊急ではないが治療を要する
- 緑：治療不要もしくは軽度の処置のみ
- 黒：死亡もしくは救命困難

一次トリアージ「START法」については下記のとおり実施します。



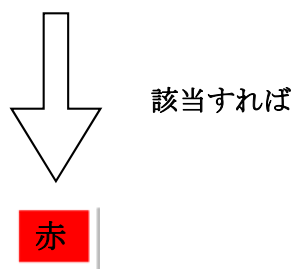
簡単な指示とは、目を開けたり手を握ったりできるかを確認します。

以上の観察をトリアージ実施者と記録者の2名1組で行い、30秒程度で迅速に実施していきます。

次に緊急度別にふるい分けた傷病者を二次トリアージして、さらに詳細な方法で観察し、医療機関へ救急搬送する傷病者の順位を決めます。

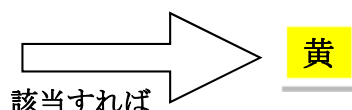
二次トリアージは「PAT法」という方法で下記のとおり実施します。

- 1 初期評価  
呼吸・脈拍・意識に異常がないか。
- 2 全身観察  
傷病者の全身を観察して急速に命を脅かす損傷がないか。



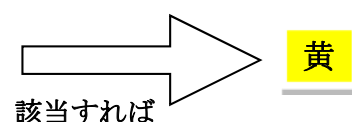
- 3 上記1、2に該当しない場合は、受傷機転（事故状況）で評価します。

体幹部や手足が長時間挟まれた事故  
爆発事故、高所からの墜落事故等



- 4 最後に避難行動に支援を必要とする災害時要援護者であるかを評価します。

小児、妊婦、高齢者  
基礎疾患のある傷病者等



- 5 上記1～4に該当しない場合は **緑**

一次トリアージでは迅速性、二次トリアージでは正確性が求められます。トリアージは現場で1度だけ実施するのではなく、傷病者の病態が時間経過とともに変化していく可能性があるため、医療機関へ到着するまで何度も繰り返して実施する必要があります。